



次世代交通イノベーションとともに

株式会社AirX 代表取締役 手塚 究
kiwamu@airx.co.jp



好きな時に、好きな場所へ、最速で
人生の大切な「時間」を生み出す



空飛ぶクルマ

空飛ぶ車椅子

空飛ぶベビーカー

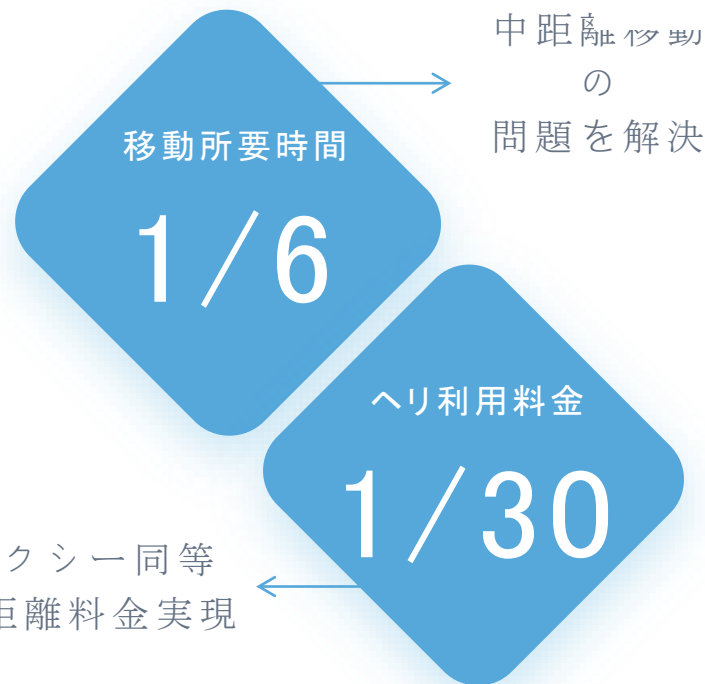
About AirX

Executive Summary



遊休航空機の高稼働運用による

空中モビリティシステムのアップデート



STEP 1 AGGREGATION

集客・マッチング手配

稼働率アップ

STEP 2 MATCHING

相乗り・定期ルート運航

低価格化

STEP 3 PREDICTION

デマンド予測・自動化

オンデマンド化



1.需要：年間35万人

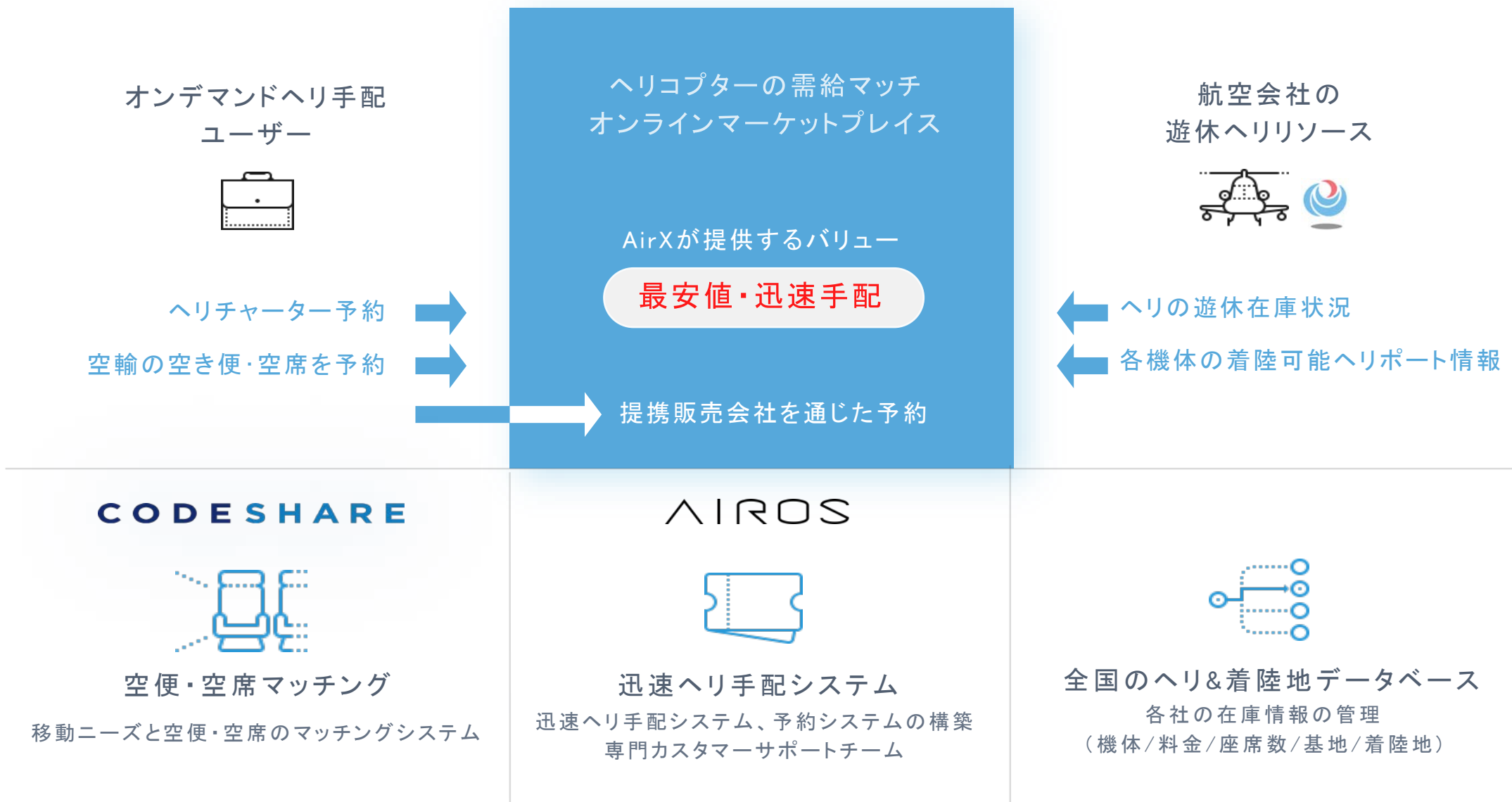
2.オペレーション：迅速手配。数分で完了
(安全運航、全国ネットワーク)

3.供給：タクシーハイヤーと同程度のkmコスト



サービス全体像：航空イノベーションプラットフォーム

- **最安値**：遊休航空機及び空席のシェアサービスにより、全国の中から条件が良いものを選択可能。
- **迅速な手配**：ヘリサービスのデータベース(機体 / 着陸地など)、及び専門のカスタマーサポートを設置



【参考】サービスの概要：AIROS(エアロス) / AIROS Skyview(エアロス スカイビュー)

- 遊休機シェアサービス「AIROS」は、日本全国のヘリコプターのチャーター利用が可能。「移動」「遊覧」目的の利用がメイン。
- 従来1週間要した予約プロセスを「数分」に短縮。迅速に、最安値のヘリコプターの予約が可能。

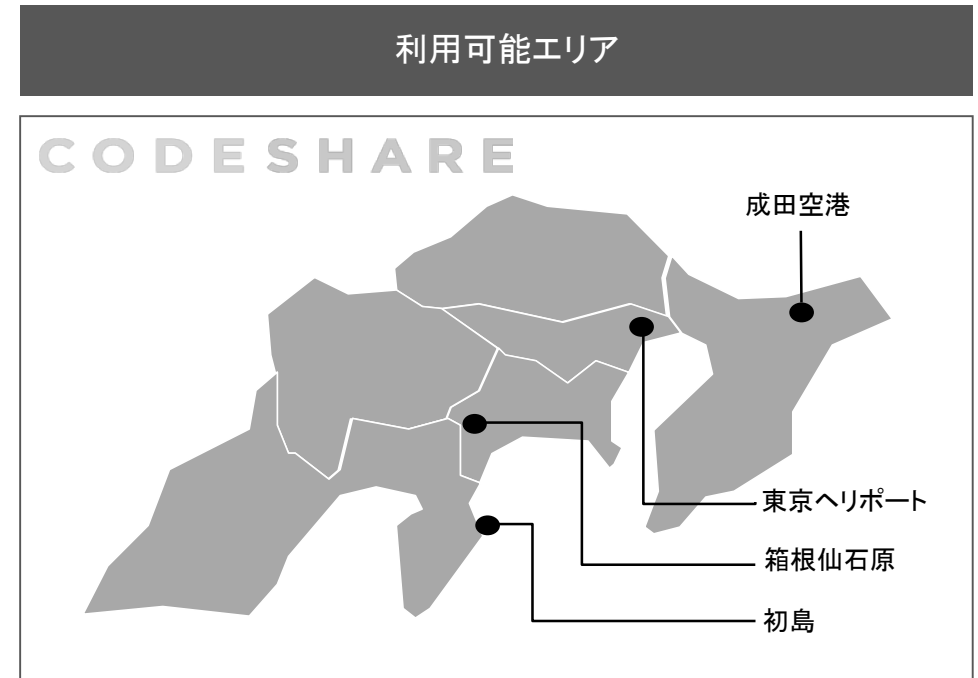
<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ AirXが運営するチャーターサービス ■ 日本全国を対象に、「移動」「遊覧」サービスを展開 ■ Web上で瞬時に「飛行時間」「料金」を算出し参照可能
<p>ルート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移動サービス: AIROS(エアロス) 日本全国の利用可能な任意のヘリポートを選択できる 新規のヘリポートも2~3週間で追加申請可能 ■ 遊覧サービス: AIROS Skyview(エアロス スカイビュー) 日本全国のヘリコプター遊覧プランを予約可能
<p>コスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 飛行区間、プランごとに定価料金の設定あり ■ 料金例: <ul style="list-style-type: none"> ➢ 東京ヘリポート → 成田空港 :143,000円(3人乗り) ➢ 東京ヘリポート → 箱根仙石原 :180,000円(3人乗り) ➢ 東京ヘリポート → 初島 :195,000円(3人乗り)
<p>使用機</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 希望に応じていずれかの機体を使用する <ul style="list-style-type: none"> ➢ Robinson R44 (pilot+3) ➢ Airbus AS350 / AS355 / EC135 (pilot+5) ➢ Kawasaki BK117 / S76 (pilot+8) etc



【参考】サービスの概要：CodeShare(コードシェア)

■ ライドシェアサービス「CodeShare」は3つの定期航路を飛ばヘリコプターを、**ハイヤー価格と同程度の料金**で、1席単位から予約・利用できる。

概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ AirXが運営するライドシェアサービス ■ Webサイト上から予約可能で、定期航路のヘリコプターを1席単位で利用することができる ■ 東京23区内から東京ヘリポート(江東区新木場)までの送迎タクシー、目的地までの荷物配送も無料で利用可能
ルート	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3つの定期航路から選択できる <ul style="list-style-type: none"> ➢ 東京ヘリポート → 成田空港 ➢ 東京ヘリポート → 箱根仙石原 ➢ 東京ヘリポート → 初島
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1席単位で予約ができるため、チャーターサービスよりも安い価格設定(ハイヤーと同程度の料金) <ul style="list-style-type: none"> ➢ 東京ヘリポート → 成田空港 :59,800円 / 人 ➢ 東京ヘリポート → 箱根仙石原 :69,800円 / 人 ➢ 東京ヘリポート → 初島 :79,800円 / 人
使用機	<ul style="list-style-type: none"> ■ 搭乗数に応じていずれかの機体を使用する <ul style="list-style-type: none"> ➢ Robinson R44 (pilot+3) ➢ Airbus AS350 / AS355 / EC135 (pilot+5) ➢ Kawasaki BK117 / S76 (pilot+8) etc



さらなるヘリ運賃の低減、需要創出が可能



「遊休ヘリ」と「空席」の稼働率上昇で料金が低下

従来

着陸料
+
空輸費用
+
輸送費用

通常料金
金
56万円
キロ5,600円

例：
東京-箱根
往復ヘリ料金

稼働率上昇で

1/4



稼働率UP
14万円
キロ1,400円

AirX

空輸流通で

1/8



空輸分を他者が利用
7万円
キロ700円

AirX × You

座席流通で

1/40



座席単位での流通
1.4万円
キロ140円

AIROS (ヘリ&着陸地 データベース)によってオンデマンドでクイックにヘリ手配
乗りたい時にすぐ手配できるオンデマンドシステム

従来のヘリ手配にかかる
所要時間

BEFORE

最短

1週間



見積作成

着陸地申請

機材・パイロット確保

整備士調整

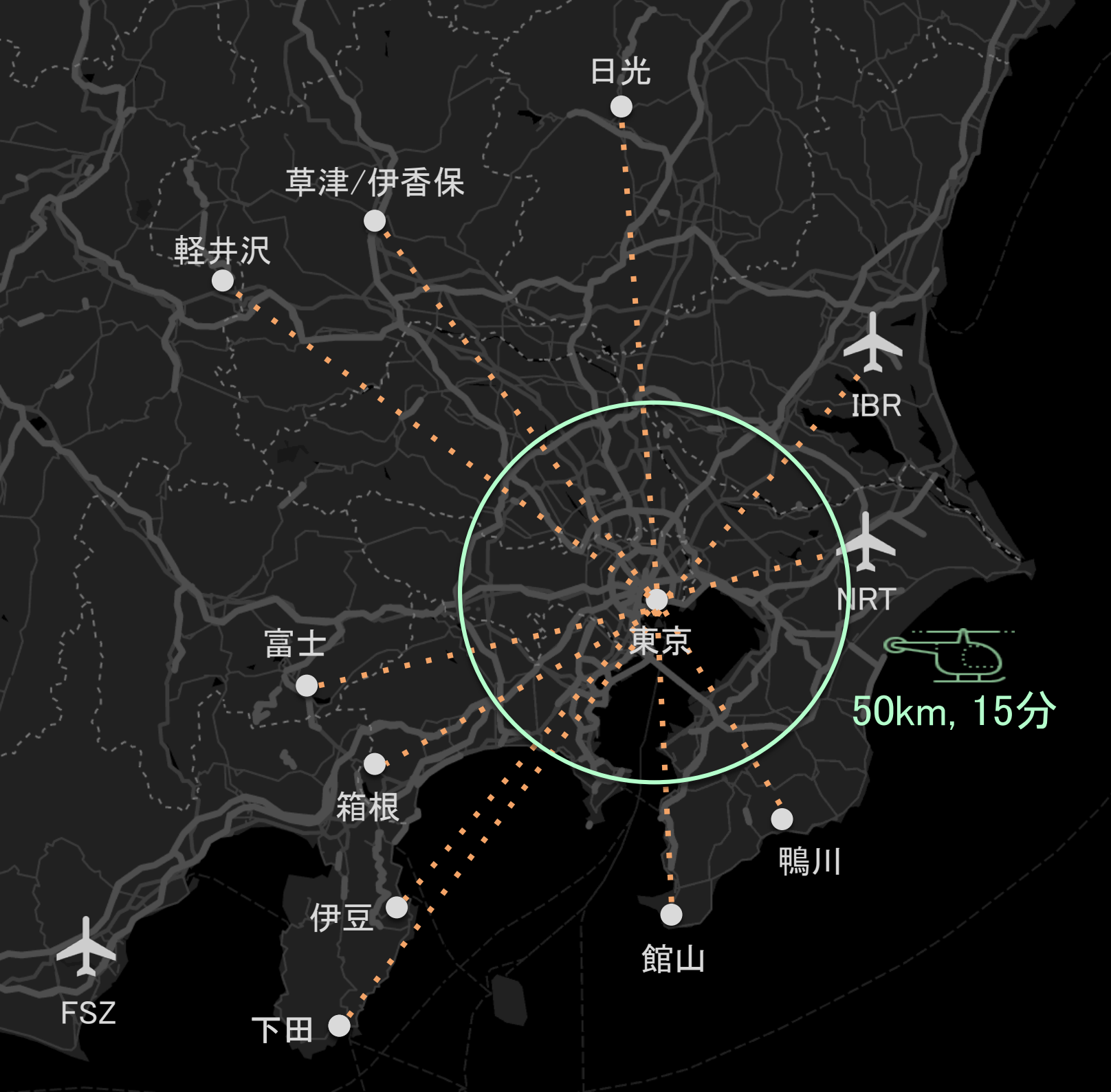
振込入金確認

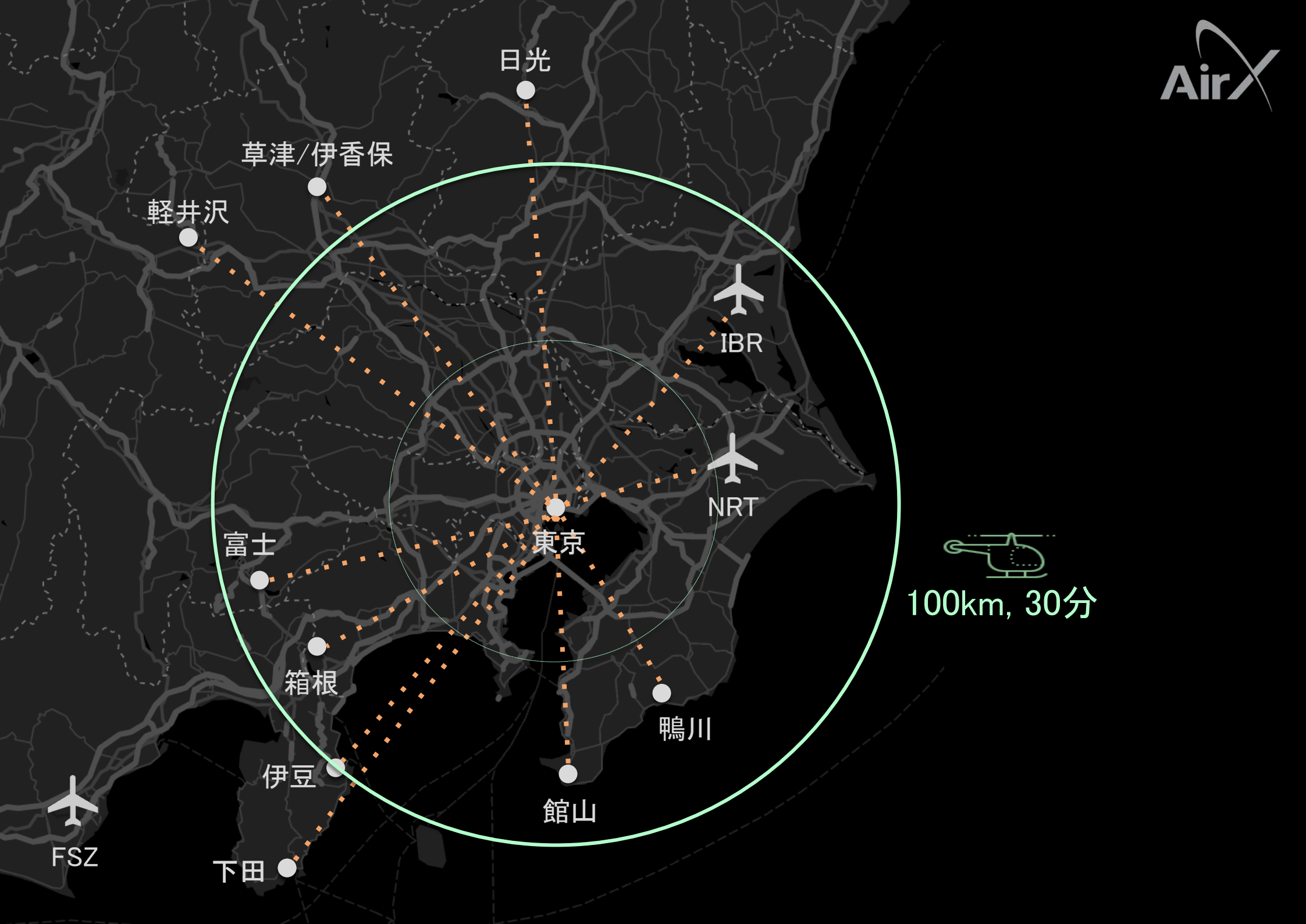
AIROSによって実現する
手配所要時間

AFTER

最短

3分





日光

草津/伊香保

軽井沢



IBR



NRT

富士

東京



100km, 30分

箱根

鴨川

伊豆

館山



FSZ

下田



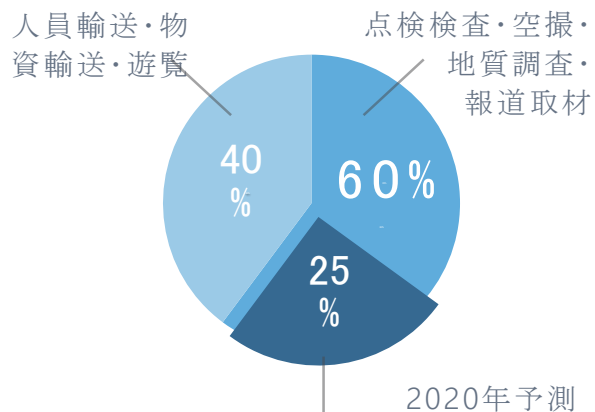

150km, 45分

Opportunity : なぜ今か、なぜ当社なのか



事業機会 / タイミング

ドローンの普及により
ヘリ稼働率がさらに低下
有人ドローンの開発も加速

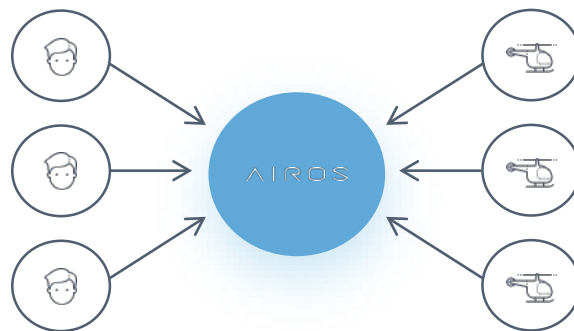


ドローンが市場代替 & 新規市場創出
⇒ ヘリ遊休率増加

ヘリ遊休率増加 ⇒ 低価格化

ビジネスモデル特性

ヘリユーザーと航空会社を
マッチングさせる
マーケットプレイスモデル



ヘリ機体の固定費リスクなし &
全国のヘリをアグリゲート

固定費なし & 広いエリアカバー

当社の強み

国内トップのアドテック企業
出身者のマーケティング運用
および航空事業の経営経験



Google検索結果表示位置

ヘリコプター運航会社

1-2位

ヘリコプターチャーター

1-2位

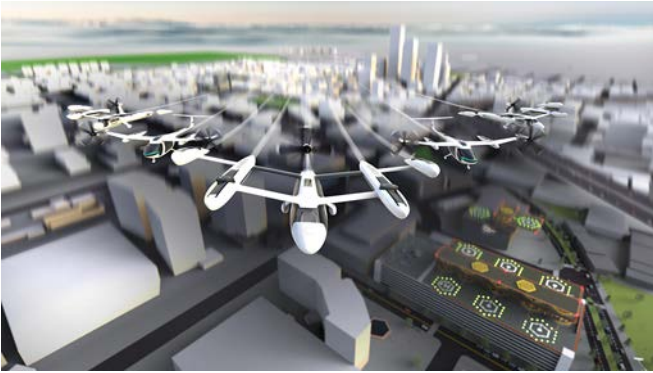
ユニットエコノミクスの
最適化が可能な運用体制

ウェブ及び航空専門家集団

In the near future

長期：eVTOLの活用

「電動」「自動」「垂直離着陸」



- 静粛性&自動飛行&マルチエンジン
 - ⇒ 安全性向上
 - ⇒ 離着陸場の増加(都心&屋上)
 - ⇒ 運用時間の拡大(早朝&夜間)
 - ⇒ 運航可能な天候条件拡大
 - ⇒ 機数&運航数のスケール
- 運航コストの低減
 - ⇒ 需要増
 - ⇒ 交通インフラ(観光/ビジネス)
 - ⇒ 災害支援

観光 × 防災

次世代交通インフラへ

より快適により効率的に移動できる社会を実現

ヘリコプターシェア
サービス

航空機イノベーションを見据えた
次世代交通ビジネス

事業ロードマップ

ゴールは、航空機イノベーションを見据えた**次世代交通ビジネス**

1. 短期中期：低価格ヘリコプターAirXサービスを活用。データやノウハウの蓄積。
2. 長期的：電気航空機、有人ドローンなど、新たな移動網、経済圏の創出。

次世代交通モビリティの登場



次世代交通の
パイオニア・トッププレイヤーを目指し、
ヘリによる事業検証/展開



実証実験

- ビジネスモデル検証
- ・ 限定エリア
(都内一箱根、箱根現地)
 - ・ 顧客ニーズ、ペルソナ、
受容される価格帯を把握



短期

- サービスイン
- ・ 定期便の便数拡大
 - ・ 拠点を2,3箇所へ拡大

2018年10月～2019年2月

顧客ニーズの把握・開拓

空路構築



中期

- ・ 定期便の拡大
- ・ グループ施設内のヘリ移動
- ・ 発着地(スカイポート)の増設

2019年後半～



長期

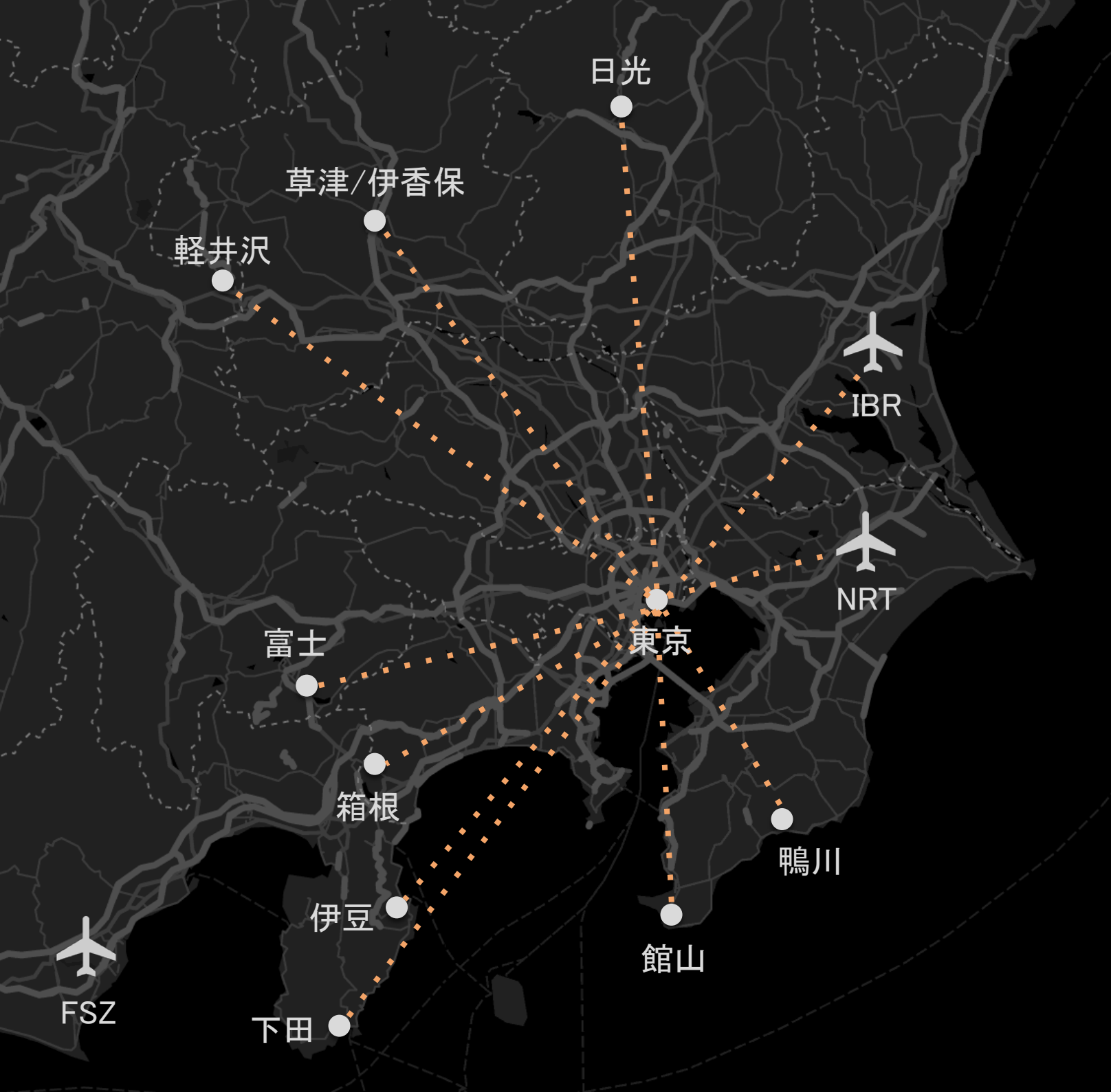
- ・ 全国各地をヘリで移動可能に
- ・ グループ施設外へのスカイポートの設置
- ・ 次世代航空機の実証実験

2022年～

空の駅(スカイポート)

都市開発(街・商業・ホテルなど)

新たな経済圏の創出



FSZ



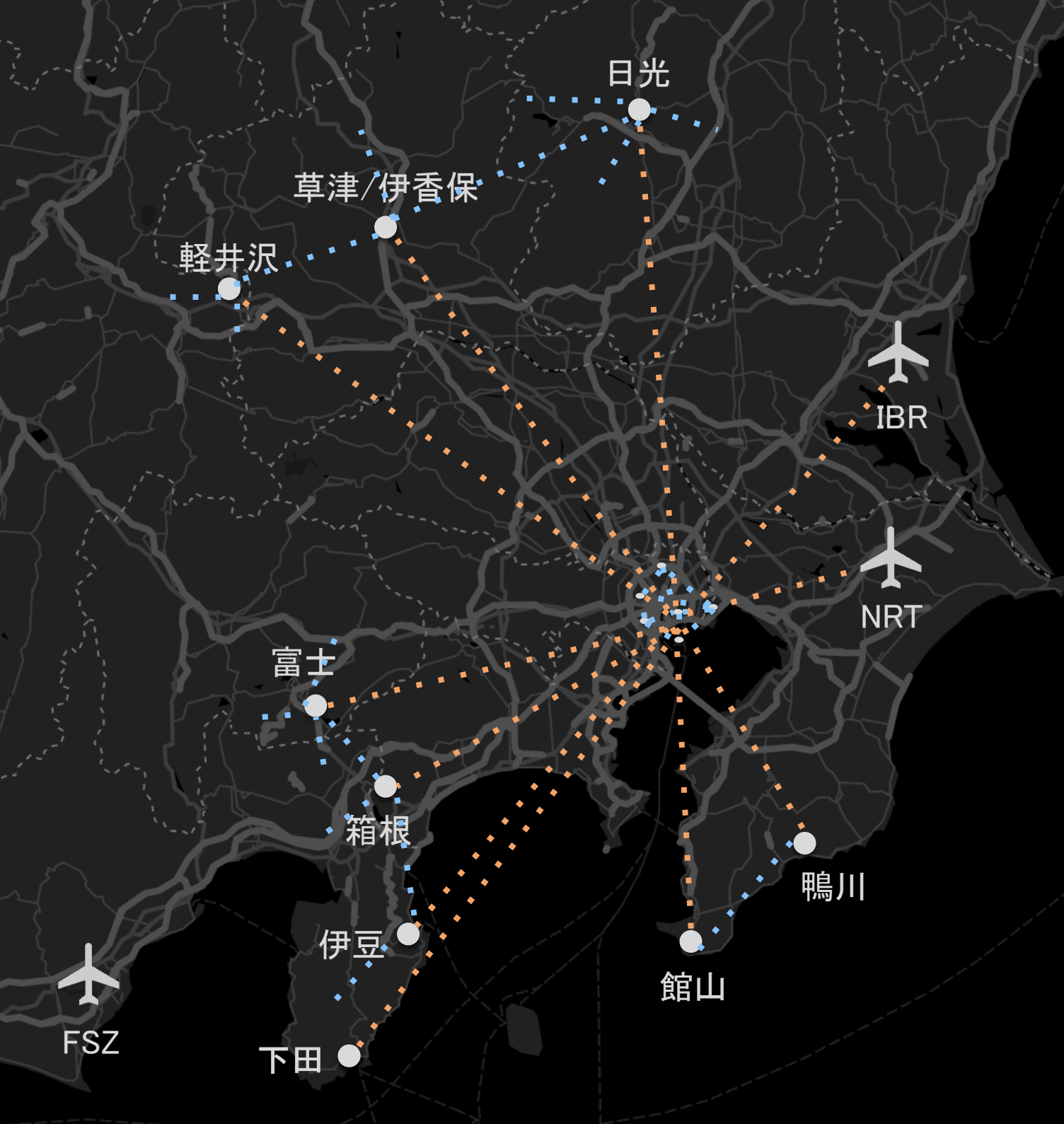
IBR



NRT



Rotorcraft



FSZ



IBR



NRT



eVTOL



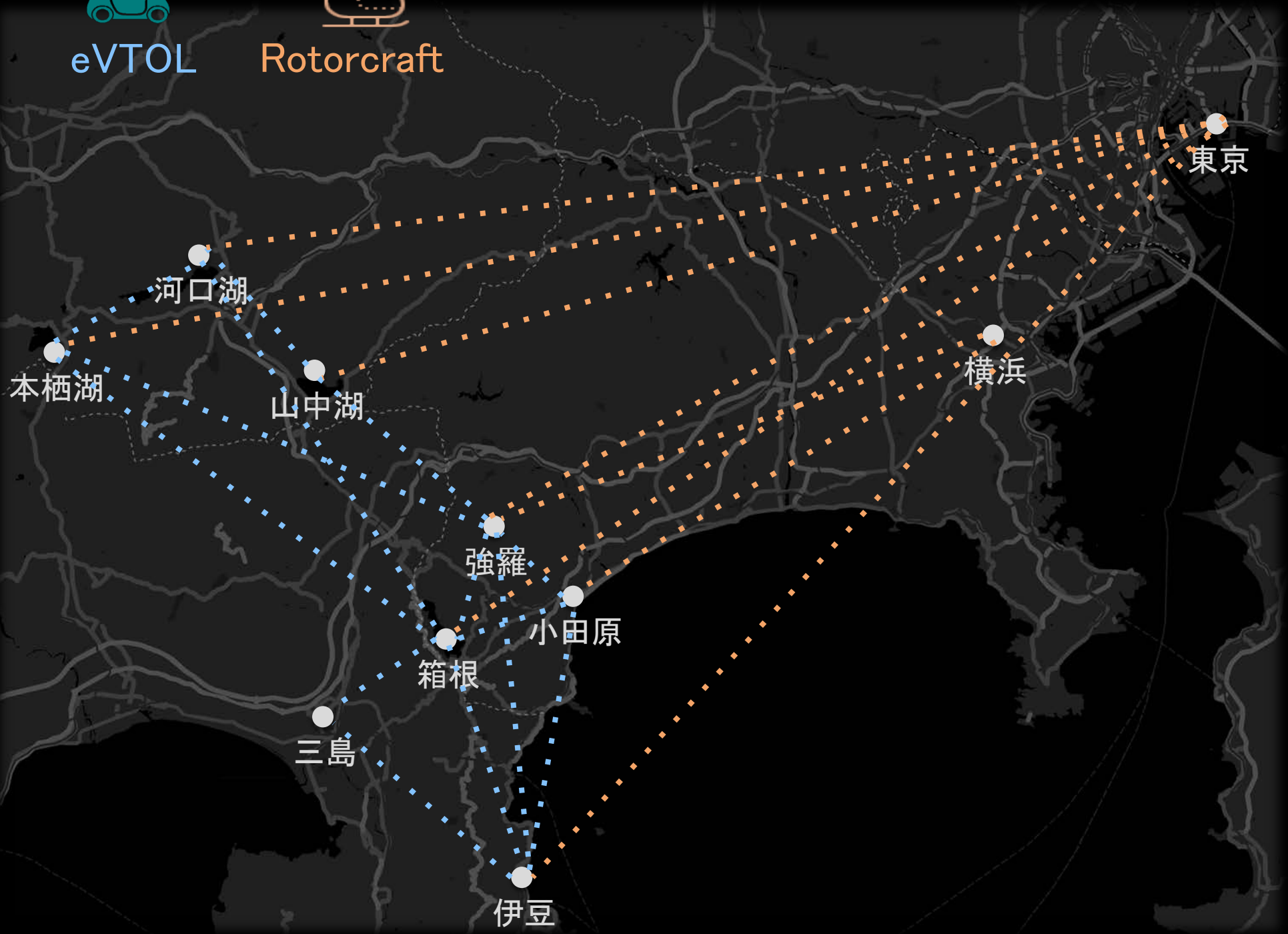
Rotorcraft



eVTOL



Rotorcraft





eVTOL



Rotorcraft



NRT



HND



eVTOL

日光

草津/伊香保

軽井沢

IBR

NRT

富士

箱根

伊豆

下田

館山

鴨川

FSZ

For the future

機体開発 / 活用

着陸場の整備

都心 / 屋上 / 運用時間 / 給電 / 格納

人材の育成

パイロット / 運航管理 / 整備

社会実装：観光×防災

飛行前提の安全確保

A futuristic AirX drone is shown in flight over a city at dusk. The drone is a large, white, multi-rotor aircraft with a central body and four arms, each with a propeller. It is flying towards the viewer, with a smaller version of the same drone visible in the background. The city below is illuminated by the warm light of the setting sun, and mountains are visible in the distance. The overall scene is presented in a blue-tinted, cinematic style.

OUR MISSION

空を身近に活用できる世界を構築し
人類の生活圏を拡大する

The AirX logo features the word "AirX" in a bold, white, sans-serif font. A blue, stylized swoosh or arc is positioned above the "X", starting from the left and curving upwards and to the right. The background of the logo area is a blurred, blue-tinted cityscape.

AirX

© AirX Inc., All Rights Reserved.